

倉田議員

市道橋の改修計画について

問 国道や県道の橋と同じように、市道橋の多くは昭和40年代に集中的に造られており、近く50年になることから改修しなければならなくなるかと推測される。改修経費が一挙に膨らむことが考えられるので、今から市内の橋梁の状況を十分調査し、長期的な年次計画を立てて改修していくことが必要だと思つて理事者の見解を伺う。

答 平成23年度は15m以上で特に点検が必要な橋梁について、国庫補助事業で詳細点検を実施している。今後は24年度中に長寿命化計画を策定し、計画的に修繕工事を実施していく予定。

既存企業を支援するアドバイザー制度について

問 企業誘致が難しい状況にある中で、勝山市の活力を維持・向上させ、雇用を確保していくためには、既存企業の付加価値額が高くなるようにすることが不可欠である。そのために、「企業支援アドバイザー制度（仮称）」の創設を提案する。この制度で国や県の助成制

その他の質問
・マンタケ山再生への取り組みについて

度や勝山市の既存企業の保有技術について熟知し、情報提供や技術指導・助成制度の申請書作成のお手伝いができる支援アドバイザーを複数人委嘱し、企業からの要望の有無にかかわらず積極的に企業訪問すべきと思つて理事者の見解を伺う。

答 景気が好転し、真に新しい技術、製品開発の需要が高まり、国、県のアドバイザーだけでは不足だと判断される場合には、市レベルでの技術的なアドバイザー的支援策も考慮しなければならないと考えている。



万年橋

トピックス

ユネスコエコパークについて

平泉寺を含む白山国立公園のエリアが、1980年にユネスコエコパークとして国内4カ所のうちの一つに登録されています。同じユネスコの関係として、勝山市は「霊峰白山と山麓の文化的景観」をテーマに世界遺産への登録を目指しています。また、すでに勝山市全域が「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」として日本ジオパークの認定を受けています。歴史、文化、自然など様々な魅力を持つ勝山市。ユネスコエコパークについても勝山市の豊かな環境をアピールするツールとして取り組みが必要です。

